

案件概要書

2025 年 12 月 23 日

1. 基本情報

- (1) 国名：モンゴル国（以下、「モンゴル」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：モンゴル全土
- (3) 案件名：農牧業ツーステップローン計画（Two Step Loan Project for Agriculture and Livestock Industry）
- (4) 計画の要約：
本計画は、農牧業の生産・加工・流通に関わる中小企業・小規模企業者に対する仲介金融機関経由の低利・中長期資金の供給や長期的な事業計画の策定支援により、金融アクセスの改善を図り、同国の農牧業セクターの生産性向上、利益増大及び付加価値の向上に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

中国とロシアに挟まれた内陸国という地政学的特性をもつモンゴルが、民主主義国家として自立的かつ安定的に成長・発展していくことは、地域の安定と繁栄に資するのみならず、我が国との関係発展にとっても重要である。同国は、両隣国に過度に依存することなく、両隣国とのバランスの取れた外交関係を構築しつつ、日本を含む「第三の隣国」ととの関係を発展させることを外交の基本方針としている。

モンゴルは、2023 年の GNI 成長率が 7%と経済成長を続けており、同年の一人当たり GNI は 4,950 ドルに達している（世銀）。一方、経済は鉱業に大きく依存しており（輸出全体に占める鉱物資源の割合は約 87%（モンゴル国家統計局、2024））、将来的な更なる経済発展に向けて産業の多角化が大きな課題となっている。また、中国及びロシアからは食糧品を含め、多くを輸入している状況にある。

本計画は、鉱業に次ぐ主要産業である農牧業に携わる中小企業の活動促進を通じて、農牧業セクターの活動強化、ひいては国内産業の多様化に資するとの観点から外交的な意義が高い。

- (2) 当該国における農牧業セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

モンゴルの農牧業は鉱業に次ぐ主力産業であり、労働人口の約 2 割が従事する一方、GDP に占める割合は 7%にすぎない（モンゴル国家統計局、2024）。また、気候変動の影響により発生頻度が高まっている豪雪害（ゾド）によって、2024 年には遊牧民にとっての重要な財産である家畜約 810 万頭（全体の約 14%）が喪失されるなど、特有の脆弱性に直面している（モンゴル国家統計局、2024）。

また、鉱業に依存した経済からの脱却や産業多角化のためには、事業投資による高付加価値を生み出す生産・加工体制の強化が求められる一方、農牧業セクターの金融アクセスは依然として限定的である。同国の農牧業分野の企業の 93%は中小企業・小規模企業者（Medium, Small and Micro Enterprises：以下、「MSME」という。）

（モンゴル国家統計局、2024、2024）であるが、商業銀行から MSME への融資は全体の 9%と低い（中央銀行、2025）。MSME への貸付が進まない一般的な理由としては、一般的な商業金利が高く（18%程度）、融資期間が短いこと（返済期間 5 年以上の融資は、MSME に対する新規融資の 5%程度（中央銀行、2025））により設備が稼働し収益が得られるまでの返済負担が大きいことが挙げられる。特に、農牧業分野の MSME は、天候の影響も受けやすいことから、より譲許的な条件でなければ借りることはリスクが高いとの現状がある。

こうした状況の中、モンゴル政府は、長期国家開発計画「Vision2050」（2020 年）及び国家大会議で決定した「食料安全保障確立対策」（2022 年）において、農牧業分野の生産能力強化、輸入依存軽減、輸出促進及び食品加工業振興を国家の最重要課題の一つとして掲げている。同国政府は、上記方針を踏まえて 2023 年より商業銀行による金利優遇支援策を導入し、2024 年には遊牧民の協同組合組成を推進するための融資支援も開始した。一方、商業銀行の融資先は事業規模や売上実績の大きな企業が中心であり、また中小企業庁傘下の中小企業開発基金は、その資産規模が理由で申請事業の 2 割程度にのみ融資している状況にある（中小企業庁、2025）。本計画は、低利・中長期資金の供与により、現在の政策金融では限定的な状況に留まっている農牧業分野の MSME の金融アクセスを改善し、また、それにより農牧業分野の MSME が長期的な融資による事業の計画を策定できるようにし、ひいては農牧業分野の MSME の生産性や付加価値の向上、輸入依存軽減と輸出促進にも貢献するものであり、モンゴル側のイニシアティブ等と整合する事業である。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

- ア) ツーステップローン（農牧業分野の MSME が農業機械、加工施設・機械、物流施設及び機械等を導入・拡張する際の仲介金融機関（Participating Financial Institutions。以下、「PFI」という。）を通じた貸付）
- イ) コンサルティング・サービス（ショートリスト方式）：事業実施支援、PFI の能力向上支援、PFI 及び最終貸付先に対する事業計画策定・指導等

② 期待される開発効果：

最終貸付先の売上増加、女性経営者を含む融資先企業の金融アクセスの改善（特に、初めて融資を受けた企業数の増加）

③ 借入人：モンゴル国政府（The Government of Mongolia）

④ 計画実施機関／実施体制：食糧・農牧業・軽工業省（Ministry of Food, Agriculture and Light Industry）及び中小企業庁（Small and Medium Enterprises Agency）。実施機関が大蔵省とともに本件の転貸先となる PFI を複数選定し、当該 PFI に JICA 資金が転貸される。PFI はその転貸資金を元に最終貸付先である MSME に融資する。なお、現時点において、円借款「中小企業育成・環境保全ツーステップローン計画（II）」の回転資金を活用して同計画における PFI からの貸付は継続されており、本計画においても当該円借款と同様の PFI を候補として想定してい

る。また、金融アクセスの更なる改善のため、本計画においては政府系の中小企業開発基金等を新規 PFI として参加する可能性を検討予定。

⑤ 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認

⑥ 運営／維持管理体制：協力準備調査にて確認

(2) その他特記事項：

● 環境社会配慮カテゴリ分類： FI

● ジェンダー分類： GI (ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件)

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

モンゴル向け「中小企業育成・環境保全ツーステップローン計画 (Ⅱ)」(評価年度 2019 年)の事後評価等においては、モンゴルの法律上は倒産して銀行が有する貸付事業の他銀行への移管は認められていないため、一部の PFI が倒産した際に、当該 PFI の貸付事業を中央銀行で引き受けるしか選択肢がなく、その結果、最終貸付先の企業が取引先の商業銀行との間で確立した信用が失われ、完済後に新たな融資を好条件で受ける好機を失うことにつながったと指摘されている。本計画では、PFI が本計画の融資先を抱えたまま倒産することを防ぐ観点から、本計画における PFI に指定されるための資格要件の確認や本計画による融資開始後の当該 PFI の経営状況の確認を更に厳格化し、また、本計画開始後に PFI が経営状況の悪化等により当該資格要件を満たさなくなった場合に倒産前に取り得る方策(融資先の転貸を進めるなど)を事業管理方法へ盛り込むことを検討する。当該資格要件や事業管理方法等の詳細は協力準備調査を通じて確認する。

以 上

[別添資料] 農牧業ツーステップローン計画 地図

